年末年始展示イベント「ひつじ」
2015年の干支である「ひつじ」をテーマに、ひつじや山羊が人びとと、どのようにかかわってきたのかを、資料や写真パネル、映像を用いて紹介します。
会期　2015年1月27日(火)まで
会場　本館ナビひろば

■関連イベント

◆ギャラリートーク
日時　1月10日(土)
11時～11時20分、14時30分～14時50分
解説　野林厚志（本館 教授）
会場　本館ナビひろば
※申込不要、参加無料（要展示観覧券）

◆ワークショップ
「ゴシゴシ☆フェルト――ふわふわ羊毛が大変身?!」
日時　1月12日(月・祝)
11時～、13時30分～、15時～、
（各回60分程度）
会場　本館第5セミナー室（定員各回12名）
※当日受付、先着順、参加無料、6歳未満の方は保護者同伴で参加してください。

◆みんぱくミュージアムパートナーズ企画
「おりがみで遊ぼう！～干支シリーズ「未」～」
日時　1月12日(月・祝)
11時～、11時30分～、13時～、
13時30分～、14時～、（各回30分程度）
会場　本館エントランスホール（定員各回10名）
※当日受付、先着順、参加無料

「えとの未で絵馬を描こう！」
日時　1月18日(日)10時～16時（随時受付）
会場　本館エントランスホール（定員100名）
※当日受付、先着順、参加無料（要展示観覧券）

「干支にちなんだ西アフリカの昔話を語る」
日時　1月18日(日)
11時30分～12時、14時～14時30分
会場　本館エントランスホール
※申込不要、参加無料

研究公演
「じゃんがら念仏踊りみんぱく公演」
じゃんがら（福島県に伝わる独特の念仏踊り）の披露のほか座談会も行い、復興に向けた人びとの思いについて考えます。
日時　1月24日(土)13時30分～15時30分
（開場12時50分）
会場　本館講堂（定員450名）
※参加無料（要展示観覧券）、要事前申込、申込締切1月8日（木）必着

みんぱくワールドシネマ
「もうひとりの息子」
湾岸戦争の混乱の中で赤ん坊を取り違えられたイスラエル人とパレスチナ人の一家の動揺と葛藤を描きます。
日時　2月28日(土)13時30分～16時30分
（開場13時）
会場　本館講堂（定員450名）
※申込不要、先着順、要展示観覧券
※当日11時30分よりナビひろばにて展示場ミニレクチャーを実施します。

国際フォーラム
「中国地域の文化遺産――人類学の視点から」
中国地域における有形・無形の文化遺産に焦点を当て、遺産認定が人々の生活にもたらした影響を考えます。
日時　1月24日(土)10時～16時30分
1月25日(日)10時～16時
会場　本館第5セミナー室
言語　日本語（一部中国語通訳）
※参加無料、申込不要
お問い合わせ
heritage@idc.minpaku.ac.jp

公開フォーラム
「古代文明の生成過程――エジプトとアンデス」
考古学者を招いて、最新の調査成果とともに、両古代文明の特性について、討論します。
日時　1月25日(日)13時～16時
会場　JPタワーホール&カンファレンス
ホール1（東京）
※参加無料、申込不要、先着順
お問い合わせ
se.kiken@idc.minpaku.ac.jp

国際フォーラム
「紛争地の文化遺産と博物館」
現地の人びとによる遺産継承という視点から、博物館と現地コミュニティのあらたな関係を構築する方法を考えます。
日時　2月7日(土)13時30分～16時20分
会場　本館第4セミナー室
※参加無料、要事前申込
お問い合わせ・お申し込み
cultural_heritage@idc.minpaku.ac.jp

研究フォーラム
「持続可能なIPMに向けて――博物館環境データの分析手法を考える」
博物館の環境調査から得られる膨大なデータの効率的・長期的視点での分析手法について保存科学者、学芸員がともに考えます。
日時　2月20日(金)13時30分～18時
会場　本館第5セミナー室
※参加無料、申込不要

国際シンポジウム
「アジアにおける新しい博物館・博物館学の展望」
各国の歴史的・社会的・文化的背景に即して、発展、成熟する博物館研究とその実践事例を共有し、アジア独自の博物館・博物館学のありかたを議論します。
日時　2月21日(土)9時30分～16時30分
2月22日(日)9時30分～17時30分
会場　本館第4セミナー室
※参加無料、申込不要

みんぱく創設40周年記念　カレッジシアター
「地球探究紀行」
10月からプログラムをさらに充実、参加しやすいスタイルで後期講座がスタートしました。
時間　13時～14時30分
会場　あべのハルカス近鉄本店「スペース9」
※要事前申込（参加状況により当日受付あり）、参加費各回1000円
主催　産経新聞社
特別協力　国立民族学博物館、千里文化財団

1月14日(水)
オーストラリアを旅する――カンガルーからブーメランへ
講師　久保正敏（本館 教授）

1月21日(水)
南米アンデス文明の遺跡を巡る考古学者と盗掘者との闘い
講師　関雄二（本館 教授）

1月28日(水)
多民族共生を考える――ベトナム西北部の人々のくらしから
講師　樫永真佐夫（本館 准教授）
お申込み・お問い合わせ
ウェーブ産経カレッジシアター係
06・6633・9087

みんぱくゼミナール
時間　13時30分～15時（13時開場）
会場　本館講堂
定員　450名（当日先着順）
参加費　無料（展示をご覧になる方は観覧料が必要です）

第440回　1月17日(土)
デジタルアーカイブズの楽しみ――文化遺産オンラインから事業史錦絵絵引まで
講師　丸川雄三（本館 准教授）

実業史錦絵絵引
衣喰住之内家職幼絵解之図

情報技術の進展にともない、文化財を取り巻く高精細画像や電子書籍などのデジタルアーカイブを活用した情報発信が広がりを見せています。2004年に一般公開され、その先駆けとなった「文化遺産オンライン」をはじめ、民俗研究資料を高精細画像や解説とともに閲覧できる「実業史錦絵絵引」などのウェブサービスを紹介します。

みんぱくウィークエンド・サロン
研究者と話そう
時間　14時30分～15時30分
※申込不要、参加無料（要展示観覧券）
本館の研究者が来館された皆様の前に登場します！
「研究について」「調査している地域（国）の最新情報」「展示資料について」など、話題や内容は実に多彩。

1月11日(日)　本館ナビひろば
ドイツのクリスマス・ピラミッド
話者　森明子（本館 教授）

1月18日(日)　本館中央アジア展示場
北方の織布と織機
話者　佐々木史郎（本館 教授）

1月25日(日)　本館東南アジア横休憩所
中央アジアの嫁入り道具
話者　藤本透子（本館 助教）

●展示ガイド更新のお知らせ
2014年3月に新しくなった東アジア展示の展示ガイド更新版が完成しました。展示ガイド（バインダー形式）をお持ちの方には、無料で差し替え分をお渡しいたします。ミュージアム・ショップにお申し出ください。

●南アジア・東南アジア展示リニューアルのお知らせ
展示リニューアル工事のため、2015年3月18日(水)まで南アジア・東南アジア展示場を閉鎖しています。

●無料観覧日のお知らせ
1月12日(月・祝)成人の日は本館展示を無料で観覧いただけます。ただし自然文化園（有料区域）を通行される場合、入園料が必要です。
※各イベントについてくわしくはみんぱくホームページをご覧ください。
※電話でのお問い合わせの受付時間は、9時～17時（土日祝を除く）です。

刊行物紹介

■野林厚志 著
『タイワンイノシシを追う――民族学と考古学の出会い（フィールドワーク選書）』臨川書店　2,000円（税抜）

台湾原住民族の村で遺跡の“なぜ”に迫る。どうやって遺跡はできるのか？ 人間の行動とその結果残されるものとの関係を検証し、考古学遺跡の解釈に寄与することを目的とするエスノアーケオロジー。台湾の原住民族社会でイノシシ狩猟に密着し、社会のあり方と狩猟の関係を明らかにするとともに、原住民族の人びとが置かれてきた現実についても率直な語り口で綴る。

■広瀬浩二郎・嶺重 慎 編著
『知のバリアフリー――「障害」で学びを拡げる』
京都大学学術出版会　2,400円（税抜）

2013年6月に開催された「京都大学バリアフリーシンポジウム」の成果報告書。大学における障害学生支援の歴史を振り返り、未来を切り開く新概念として「障害学習＝障害を通じて学びあう事」を提案する。

国立民族学博物館友の会　電話 06-6877-8893（9時～17時、土日祝を除く）　FAX 06-6878-3716
http://www.senri-f.or.jp/　e-mail minpakutomo@senri-f.or.jp

友の会

友の会講演会（大阪）
会場　本館第5セミナー室
定員　96名（当日先着順、会員証提示）

第438回　1月10日(土)14時～15時
グローバル時代の「知的生産の技術」――フォーラム型博情館の可能性
講師　久保正敏（本館 教授）
梅棹忠夫初代館長は、博物館を博情館と位置づけ、モノ、映像や音響資料の収集とそれらの情報化に力を注ぎました。また、利用者自らが情報を選択・再構築し、自ら「知的生産」を実践する場として、民博が活用されることを期待しました。グローバルな情報収集と利用が日常となった現代は、博物館における資料や情報の集積・利用や公開の手法において、多様な異文化への配慮が特に必要です。「フォーラム型」の情報集積と公開に新たな可能性を見出す、これからの「知的生産の技術」について考えます。

第439回　2月7日(土)14時～15時
都市の婚礼、山村の婚礼――ネパール社会の現在（いま）を結婚式に探る
講師　南真木人（本館 准教授）
王制が廃止されヒンドゥー王国ではなくなったネパール。それでも、カーストと民族（ジャート）の違いは結婚において顕在化します。
ヒンドゥー僧侶や楽師などさまざまな人が関わる結婚式は、社会の伝統と変化が表れる縮図です。本講演会では都市と山村の結婚式に着目し「ネパール社会の現在（いま）」を紹介します。
親族やカースト・民族間の関係性、衣食住や文化継承の在り方など、地域的な違いや変容を包括的に探ります。新規ビデオテーク番組の制作に基づくお話です。

第440回　3月7日(土)14時～15時
いま、焼畑を考える――自然破壊か、それとも共生か
講師　池谷 和信（本館 教授）
※講演会終了後、1月と2月は懇談会、3月は展示場見学会をおこないます（1時間程度）。研究者と、そして参加者同士の交流の時間です。是非ご参加ください。

※国立民族学博物館ミュージアム・ショップの記事は、表紙うらに移りました。